

岩崎榮 いわさき てる 小説家。明治二十六年六月、二十九日岡山縣生れ（一八九三—）。本名佐山榮太郎。別名佐山英太郎。中學校卒。東京日日新聞社社會部記者等を経て文筆生活。出版社風成館取締役。

著書『人間可憐』（本名、昭和六年十一月十五日大阪屋敷書店）、『戦ひのあと—附事變白話』（昭和七年四月二十八日東京日日新聞社・大阪毎日新聞社）、『廣田弘毅傳』（昭和十一年四月、二十三日新潮社）、『岸田吟香』（昭和十六年八月一日新興亞社）、『ピルマ戦記—パゾダの鐘が鳴る』（昭和十八年十一月、二十日海洋文化社）、『萬歳』チヤイユウ（昭和十九年五月、二十日京書房）、『戦場の怪』（昭和二十年七月十五日、毎日・十一月十日開成館）、『山岡鐵舟』（孤忠の巻、昭和二十年八月二十日、母の巻、十一月十日開成館）、『色魔—殺人鬼小平義雄の告白』（佐山英太郎名、昭和二十二年四月、二十日創文社）、『マシヤ教批判』（合著、日本宗教新聞社編、昭和二十六年九月、二十五日東京教新聞社）、『日本の歩み五十年』（合著、昭和二十六年十一月二十日早川書房）、『性風俗博覧会』（合著、昭和二十八年八月十五日鐘書房「おしどり新書」）、『ここことんやれ』（白肌流転の巻）（佐山英太郎名、昭和三十一年二月、二十日あまごう社）、『情炎の千代田城』（大興女函絵の巻、昭和三十一年五月五日、血戦水戸街道の巻、七月五日住吉書房）等。

